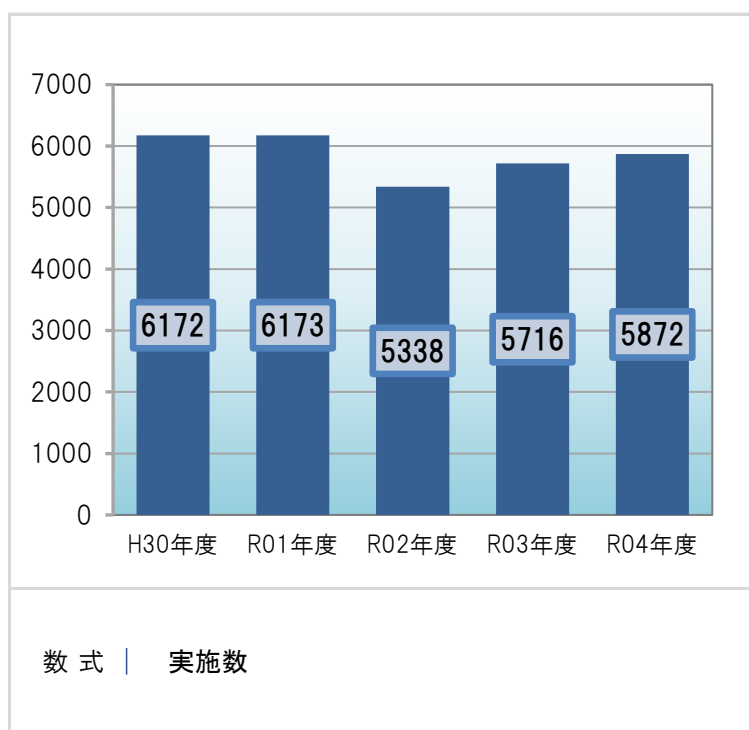


## 5 手術全身麻酔件数

### ● 項目の解説

麻酔には、意識はあるが痛みを感じない状態にする局所麻酔と、呼吸管理のもと完全に意識のない状態で痛みを感じない状態にする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて、侵襲性の高い手術が対象となり、人工呼吸管理も必要となることから、麻酔医や手術室看護師などの負担は大きくなります。このため、全身麻酔件数は、手術部門の業務量を反映する指標となります。

### ● 当院の実績



単 位 | 件数

期 間 | 年間

#### 備考

体位等により、一手術中に複数の「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が算定されますが、一連の麻酔で1件とします。

手術件数が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことによって、令和2年度以降の手術全身麻酔件数にも影響を受けています。

令和4年度国立大学病院平均値  
(100床あたり) 639.83件  
(令和4年度当院 100床あたり 550.84件)

### ● 定 義

DPCデータを元に算出した、手術室における手術目的の全身麻酔の件数です。検査などにおける全身麻酔件数は除きます。各大学間で集計方法が異なる可能性があるため、手術管理台帳ではなく医療行為に対する保険請求実績を元に集計を行っています。これにより、一部手術室以外で行われた手術目的の全身麻酔が件数に含まれている可能性があります。